

著作権ポリシー

日本電気泳動学会

1. 「生物物理化学」「電気泳動」および「Journal of Electrophoresis」に掲載された論文の著作権は日本電気泳動学会に帰属する。

2. 「生物物理化学」「電気泳動」および「Journal of Electrophoresis」に掲載された論文の PDF ファイルのうち会員限定のアクセス制限がかけられているものについては、日本電気泳動学会の会員（正会員・準会員・名誉会員）および購読契約図書館（団体会員）とその利用者が個人で利用する場合に限り PDF ファイルのダウンロードおよびその保有を認める。「フリーアクセス」の論文については、PDF ファイルのダウンロードおよびその保有に制限は設けない。ただし「電気泳動」については第 70 巻 2 号から、「Journal of Electrophoresis」は Vol. 70 からクリエイティブコモンズライセンス(CC-BY-NC-ND 4.0)を適用する。

3. 「生物物理化学」「電気泳動」および「Journal of Electrophoresis」に掲載された論文の PDF ファイルによる再配布は、論文の著者（共著者を含む全著者）が行う場合に限り認める。ただし、教育等の目的で多数（10 コピー以上）の複写物（PDF ファイルおよびこれをプリントアウトしたものを含む）を配布する場合には、事前に学会事務局に届け出て許可を得ることとする。ただし「電気泳動」については第 70 巻 2 号から、「Journal of Electrophoresis」は Vol. 70 からクリエイティブコモンズライセンス(CC-BY-NC-ND 4.0)を適用する。

4. セルフアーカイビング（グリーン OA）方針

著者は、セルフアーカイビング（グリーンオープンアクセス）として自身の論文をオンラインリポジトリに登録できる。本誌では、原著論文の著者に対し、本誌からの出版後すぐに機関リポジトリまたは公開リポジトリに論文の著者最終稿を登録することを許容している。

5. 「生物物理化学」「電気泳動」および「Journal of Electrophoresis」に掲載された論文の図表を、総説や著者等に転載する際は、著者（共著者を含む）が行う場合は学会事務局に、それ以外の方が行う場合は一般社団法人学術著作権協会に届け出て許可を得ることとする。ただし「電気泳動」については第 70 巻 2 号から、「Journal of Electrophoresis」は Vol. 70 からクリエイティブコモンズライセンス(CC-BY-NC-ND 4.0)を適用する。

(2025 年 10 月 25 日改定)

日本電気泳動学会では複写および転載および AI 利用に係る著作権の管理を学術著作権協会に委託しています。「生物物理化学」「電気泳動」および「Journal of Electrophoresis」に掲載された論文の複写転載を希望される方は、学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org/>) が提供している複製利用許諾システムもしくは転載許諾システムを通じて申請してください。

ただし原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できる著者（共著者を含む全著者）が図表などの転載利用をされる場合は無償となりますので、日本電気泳動学会事務局 (secretariat@jes190.jp) にお申し出ください。ただし「電気泳動」については第 70 巻 2 号から、「Journal of Electrophoresis」は Vol. 70 からクリエイティブコモンズライセンス(CC-BY-NC-ND 4.0)を適用します。